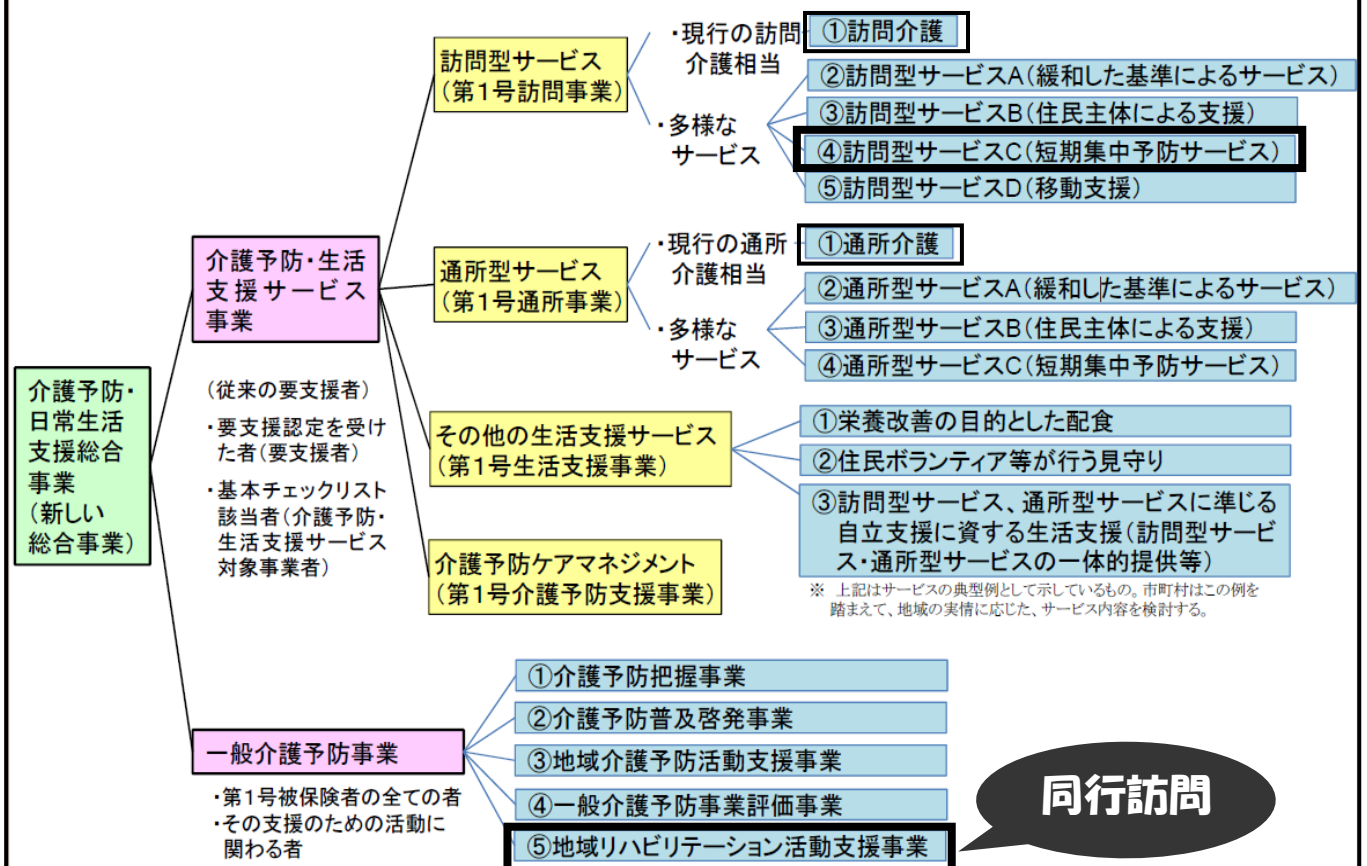


# 藤井寺市総合事業の独自事業について

## 第1 総合事業に関する総則的な事項 (P1~)

- 事業は、要支援者の多様なニーズに、要支援者の能力を最大限活かしつつ、多様なサービスを提供する仕組み。
- 生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり、介護予防の推進、関係者間の意識共有と自立支援に向けたサービスの推進等を基本に事業を実施。
- 住民主体のサービス利用、認定に至らない高齢者増加、重度化予防推進により、結果として費用の効率化。

## 【参考】介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の構成



- 1 同行訪問紹介チラシ
- 2 同行訪問の仕組み・実績・内訳
- 3 事業実施の経緯
- 4 依頼手順フローチャート
- 5 広報2020年3月号
- 6 「健康寿命をのばそう！アワード」受賞事例
- 7 「プライマリ・ケア連合学会」発表事例

# いきいき笑顔でいるために 健康寿命を伸ばしましょう！

専門家の助言で

日常生活の中でできないことや困ったことが出てきたとき、何もしていないと状態が悪化して、介護が必要となってしまうことがよくあります。それを防ぐためには今、介護予防に取り組むことが大切です！

1

## 体力や動作のことで気になる方



- ☑今まで楽にできていた洗濯や掃除など家事の動作がしんどくなってきた
- ☑最近疲れやすくなった
- ☑家の中でつまずいたり滑ったりする
- ☑自転車に乗るのが不安になってきた
- ☑歩くのが遅くなった
- ☑少しでも長く自分のことは自分でしたい など

訪問します！



お体の状態を確認し、元気でいられるよう運動や動作のアドバイスをします



理学療法士・作業療法士

2

## 食事や栄養のことで気になる方



- ☑食事管理が上手くいかず、病状や身体の機能が悪化してきた
- ☑退院後、どのように食事管理をすればいいか分からない
- ☑この半年で2～3kg体重が減った
- ☑栄養が足りているか、偏っていないか心配 など

訪問します！



食生活を確認し、元気でいられるよう食事や調理のアドバイスをします



管理栄養士

いくつになっても、毎日を  
「いきいき笑顔」で暮らし  
続けられるよう、応援します！



## 専門家が訪問します

- 対象** 概ね 65 歳以上で体の不安や困りごとのある方。  
要介護認定があってもなくてもかまいません。
- 方法** ケアマネジャーまたは地域包括支援センター職員が、  
①または②の専門職と一緒に訪問します。
- 費用** 無料
- 回数** 概ね 2 回（初回訪問 + 3 か月後訪問）
- \* 状態に応じて、必要なサービスを提案することもあります。

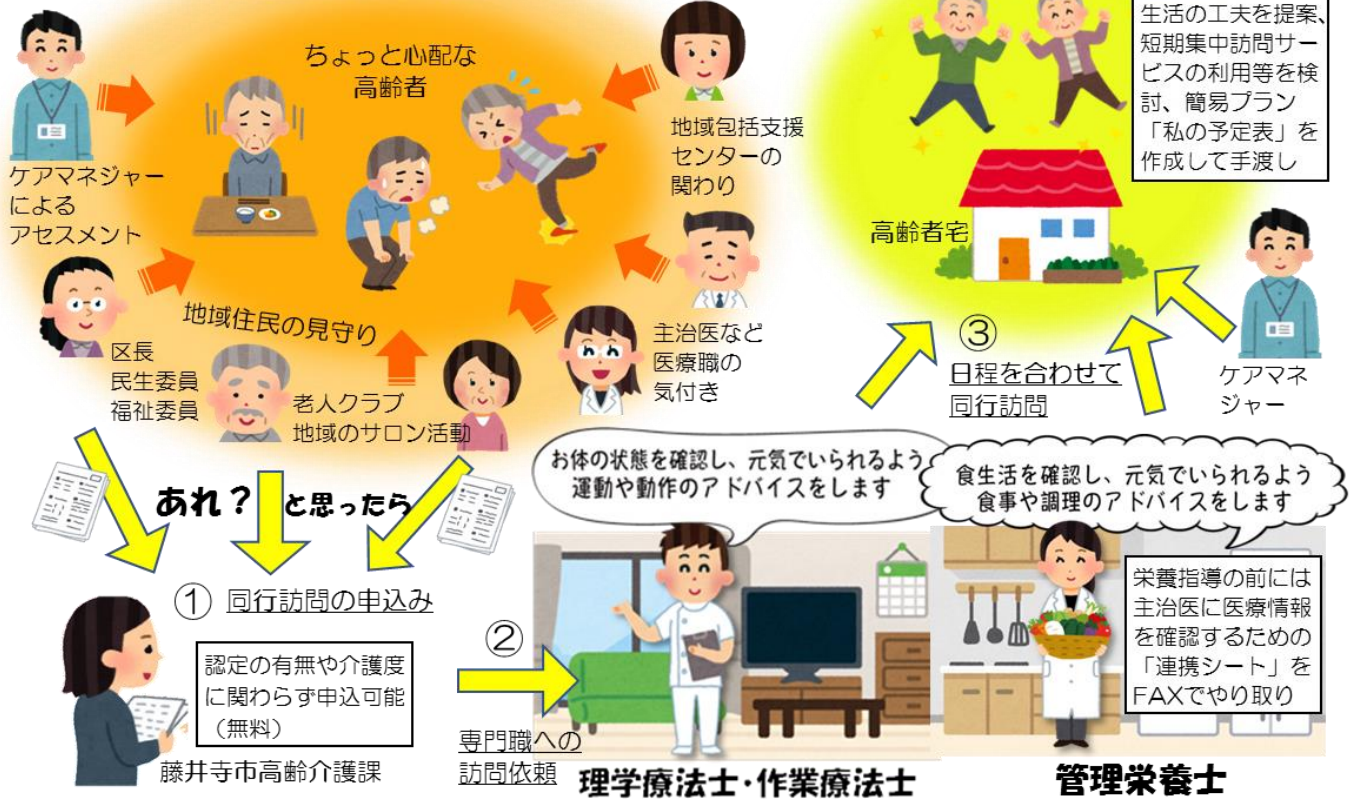
問合せ先 高齢介護課（1階3番窓口） ☎939・1164  
地域包括支援センター ☎937・2641



# 「ちょっと心配」からつながられる同行訪問の仕組み

## いきいき笑顔応援プロジェクト

いつになっても、できることは続けていきたい!という気持ちを応援します



1. 要介護認定の有無に関わらず利用できるため（一般介護予防事業）、誰でも専門職の訪問を受けることができる
2. 民生・福祉委員等の高齢者を見守る役割を担う地域住民にも、「専門職の訪問」という選択肢を理解してもらっており、申込みにつながっている
3. 主治医等の医療職にも、患者について気になることがあれば提案してもらえよう周知しており、申込みにつながっている
4. 申込方法や手順、必要な様式等はすべて運営委員会にて協議し、多職種の意見を踏まえて改善を図っている

## 同行訪問の実績・内訳

【令和2年3月末時点】

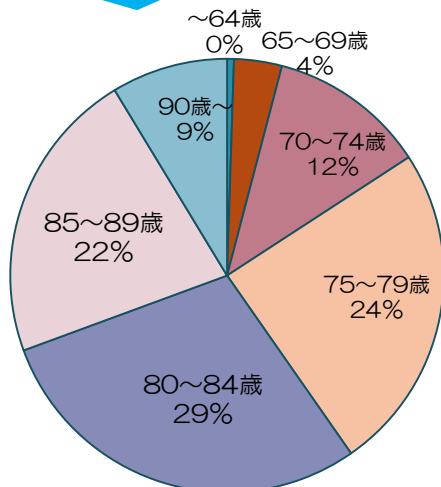
人口	64,384人
高齢者数	18,263人
高齢化率	28.4%

	認定者数	認定率
要支援	1,211人	6.6%
要介護	2,336人	12.8%
計	3,547人	19.4%

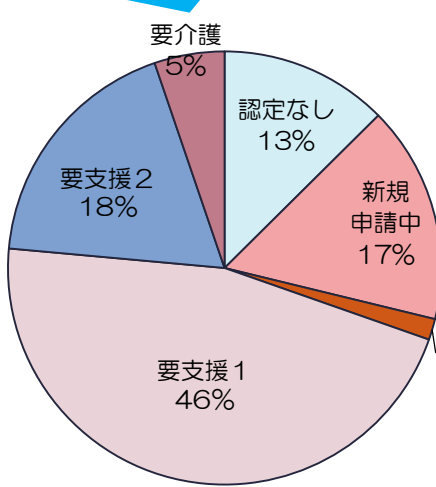
## 同行訪問延べ件数

H28	58件	(すべて運動)	
H29	56件	(すべて運動)	
H30	111件	運動	89件
		栄養	22件
H31	226件	運動	175件
		栄養	51件

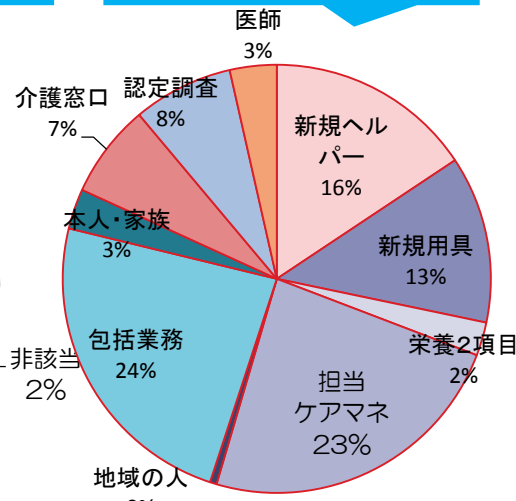
## 対象者の年齢層内訳



## 対象者の要介護度内訳



## 利用の経緯・理由



# いきいき笑顔応援プロジェクト 同行訪問

【藤井寺市独自の事業実施の経緯】

訪問します！

## H28 モデル事業として リハビリ職との同行訪問を開始

対象ケース：包括で選定したケース



## H29 総合事業としてリハビリ職との 同行訪問を継続実施

(地域リハビリテーション活動支援事業に位置付け)

対象ケース：担当ケアマネからの申込ケース

## H30 管理栄養士との同行訪問も開始

対象ケース：担当ケアマネからの申込ケース

本人からの申込ケース

& 訪問型サービスCを開始

訪問します！



## H31 新規で3パターンに該当する場合の同行訪問をルール化

(申込ケースも引き続き実施)

新規申請で要支援1・2となり、①～③のいずれかに  
該当する場合(要介護→要支援は除く)

① 新規でヘルパーを利用するケース

② 新規で福祉用具のみを利用するケース

③ 新規で基本チェックリスト栄養2項目に該当するケース

理学療法士または作業療法士が  
初回訪問に同行します

管理栄養士が初回訪問に  
同行します

【備考】  
がん末期、認知症、精神疾患  
の場合等は対象外

No.11「半年間で体重2～3kg以上減少」・No.12「BMIが18.5未満」

### 目的

専門職がアセスメントに同行することで、

- ① 課題の中で解決できることやその優先順位を明確にする
- ② 実現できる具体的な目標設定を行う
- ③ 目標に対する具体的な解決方法について助言を得る

ご利用者の「元気になる」を  
本気で応援します！

初回訪問はケアマネ・専門職・包括の3者で訪問

※『いきいき笑顔応援マニュアル』  
『いきいき笑顔応援ガイド』を活用



現場型の**地域**  
**ケア会議**  
と位置付け



目指す効果

実効性のある**地域ケア会議**  
**早期介入による**  
**フレイル予防**

# 作業療法士または理学療法士と行う いきいき笑顔応援プロジェクトの依頼手順

ケアマネジャーからの申込みの場合

1

運動面で  
気になる  
高齢者がいる



リハビリの  
専門の先生に  
相談してみましょ  
う

- ① 申込書を書く  
(申込者: ケアマネ)
- ② 添付書類を準備



認定のない方や要介護の方でも利用できます。  
\* 同行訪問した結果、ケアプラン作成(給付管理)の  
対象とならなかった場合は、ケアマネジメントに対す  
る手数料を市からお支払いします。

- ・利用者基本情報
  - ・いきいき笑顔応援アセスメントシート
  - ・基本チェックリスト
  - ・ケアプラン
- (申込時点で作成済みの書類のみで可)

2

高齢介護課へプロジェクト利用  
の申込み

書類を直接役所へ



お願いしま  
す

分かりまし  
た  
療士さん  
に  
連絡しま  
す

3

日程調整と情報提供



必要に応じ、福祉用具や住宅改修の業者さん、ヘルパーさん等に同席してもらうなど工夫もできます。

4

同行訪問

今の身体能力  
なら、  
○まで  
○で  
○に  
うに  
を  
し  
ま  
よ  
ま  
し  
ま  
す



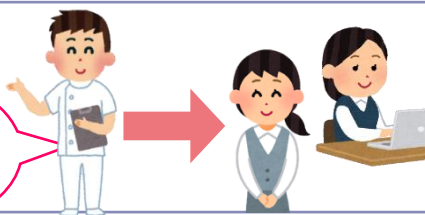
サービスの方向性を判断

- ① 訪問型サービスC
- ② 通所サービス・訪問サービス・福祉用具利用等
- ③ 今回のみ \* 数ヵ月後再度訪問

5

報告書提出

こんな課題  
があつて  
ごんな指  
導を  
を  
し  
ま  
す  
と  
考  
え  
ま  
す



心身機能改善で  
いきいき笑顔!



フローチャート以外でも、必要に応じて連絡を取り合います



# 作業療法士または理学療法士と行う いきいき笑顔応援プロジェクトの依頼手順

本人からの申込みの場合

1

## 運動面での心配事がある



早いうち  
に相打ち  
した方が  
よい!

〇〇さん、  
最近歩くの  
が遅くなつ  
たし転倒す  
ることも  
よくある  
みたい



リハビリの  
専門の先生  
に相談し  
てみよう

申込書を書く  
(申込者：本人)



民生委員さんや福祉委員さん、ご家族のケアマネさん、主治医の先生など、気付いた方からの声掛けをお願いします。

\* 要介護認定の有無に関わらず利用可

2

## 高齢介護課へプロジェクト利用の申込み

書類を直接役所へ



お願いします



アドバイスをもらって  
元気になるね

3

## 日程調整と情報提供



訪問依頼



利用者の情報を療法士に提供



運動指導  
の依頼で  
訪問可能  
な日程を  
教えて

訪問日決定!



〇〇さん、  
▲日の■時に  
お伺いしますね



\* ケアマネがない場合は包括が担当

必要に応じ、福祉用具や住宅改修の業者さん、ヘルパーさん等に同席してもらうなど工夫もできます。

4

## 同行訪問

今の身体能力  
なら、  
〇〇まで  
〇〇できる  
ように  
しよう!



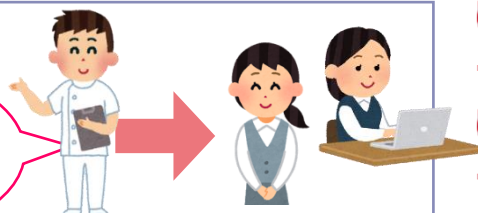
サービスの方向性を判断

- ①訪問型サービスC
- ②通所サービス・訪問サービス・福祉用具利用等
- ③今回のみ \* 数ヵ月後再度訪問

5

## 報告書提出

こんな課題  
があつて  
ごんごん  
な指導  
をしまし  
た。今後  
どう考え  
ます。



心身機能改善で  
いきいき笑顔!

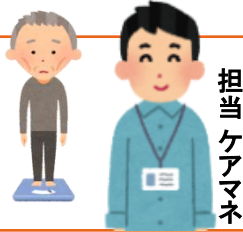


フローチャート以外でも、必要に応じて連絡を取り合います。

### ケアマネジャーからの申込みの場合

# 1

### 栄養面で 気になる 高齢者がいる



担当  
ケアマネ

管理栄養士さんに  
相談してみましょ

- ① 申込書を書く  
(申込者：ケアマネ)
- ② 本人から同意書をとる
- ③ 添付書類を準備



認定のない方や要介護の方でも利用できます。  
\* 同行訪問した結果、ケアプラン作成(給付管理)の  
対象とならなかった場合は、ケアマネジメントに対す  
る手数料を市からお支払いします。

- ・利用者基本情報
  - ・いきいき笑顔応援アセスメントシート
  - ・基本チェックリスト
  - ・ケアプラン
- (申込時点で作成済みの書類のみで可)

# 2

### 高齢介護課へプロジェクト利用 の申込み

書類を直接役所へ



お願いしま



分かりました  
栄養士さんに  
連絡しま

# 3



訪問依頼

日程調整

栄養指導の  
依頼です。  
訪問可能な  
日程を教え  
て下さい。



訪問日決定!



先生、管理  
栄養士さんと  
訪問すること  
になりました

# 4



利用者の情報を 管理栄養士に提供



情報提供



連携シート

〇〇〇に注意  
してください

主治医



必要に応じ、訪問看護師さんやヘルパーさん等に同席してもらうなど工夫もできます。

# 5

### 同行訪問

今の食事内容  
なり・・・  
朝食には〇〇  
を加えて・  
をしっかり身  
づくりをし  
ましょう!



サービスの方向性を判断

- ① 訪問型サービスC
- ② 居宅療養管理指導
- ③ 今回のみ \* 数ヵ月後再度訪問

\* 管理栄養士から医師へ直接電話等で質問することもあります

# 6



こんな課題が  
あつてこんな指導  
をしました。今後  
〇〇と考えます。

3者へ  
報告書提出



フローチャート以外でも、必要に  
応じて連絡を取り合いましょ

## 栄養改善で いきいき笑顔!



### 本人からの申込みの場合

# 1

### 栄養面での心配事がある



〇〇さん、  
食べる量が  
減っているし  
痩せてきて  
元気がない  
みたい

早いうち  
に相談  
したい  
方が



管理栄養士  
さんに相談  
してみよう



申込書と同意書を書く  
(申込者：本人)

民生委員さんや福祉委員さん、ご家族のケアマネさん、主治医の先生など、気付いた方からの声掛けをお願いします。

\* 要介護認定の有無に関わらず利用可

# 2

### 高齢介護課へプロジェクト利用の申込み

書類を直接役所へ



お願いします



アドバイスをもらって  
元気になれたら  
いいですね

# 3

先生、  
栄養指導のため  
訪問することに  
なりました



訪問依頼

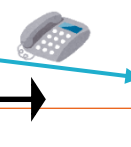


栄養指導の  
依頼です。  
訪問可能な  
日程を教え  
てください。

日程調整



訪問日決定!



担当ケアマネ

\* ケアマネがない場合は包括が担当

# 4



連携シート



〇〇〇に注意  
してください



主治医

### 管理栄養士へ情報提供

担当ケアマネがない場合は  
栄養士から直接連携シートを  
送ります

# 5

### 同行訪問

今の食事内容  
なら・・・  
朝食には〇〇  
を加えて・・・  
をしっかり身体  
づくりをしま  
しょう!



サービスの方向性を判断

- ①訪問型サービスC
- ②居宅療養管理指導
- ③今回のみ \* 数ヵ月後再度訪問

# 6



こんな課題が  
あってこんな指導  
をしました。今後  
〇〇と考えます。

3者へ  
報告書提出



フローチャート以外でも、必要に応じて連絡を取り合しましょう

## 栄養改善で いきいき笑顔!





いくつになっても、  
いきいき笑顔で暮らせるってイイネ!!

第8回

寿

健康寿命を  
のばそう!  
AWARD  
優良賞

令和元年11月、藤井寺市が推進してきた「いきいき笑顔応援プロジェクト」の取り組みが、健康寿命を延ばす施策であると評価され、厚生労働省から表彰されました。今回は、この取り組みについて紹介するとともに、超高齢社会が進む今、一人ひとりができることを提案します。

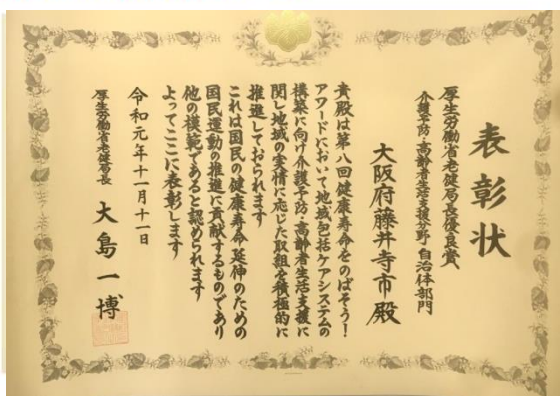
問合先 高齢介護課総務担当(1階③番窓口) ☎939・1164

# 人生 100 年時代 私たちに今できること

「第8回健康寿命をのばそう!アワード」(介護予防・高齢者生活支援分野)  
自治体部門 厚生労働省老健局長優良賞を受賞



▲授賞式の様子





Point 1 私たちに今できること

気になることは、早めに専門家に相談を

高齢になってもいきいきと笑顔で暮らし続けられるまちを目指して、市では、平成29年度から介護予防や自立支援のための取り組み「いきいき笑顔応援プロジェクト」を推進しています。

今回厚生労働省から表彰を受けたのは、プロジェクトのうちの「同行訪問」の取り組みです。これは、高齢者の自立した暮らしを多方面から支えられるよう、市と様々な関係者が一緒に作り上げてきたものです。

「同行」とは、ケアマネジャーと一緒に、運動や栄養面の専門職(理学療法士、作業療法士、管理栄養士のいずれか)が高齢者宅を訪問することを指しています。

本人の身体状況を直接確認したうえで、困りごとや希望を聞き取り、一人ひとりが今頑張れることを具体的にアドバイスします。

無理のない目標を立て、健康状態の改善に向けて一丸となって応援する仕組みとなっており、図のように、気付いた人の声掛けからすぐに訪問につなげられるのが特徴です。

「同行訪問」の仕組みのイメージ



3 ケアマネジャーと一緒に、作業療法士または理学療法士または管理栄養士が高齢者宅を訪問



日程を合わせ同行訪問

1 最近少し心配な高齢者がいる…



- ・食欲がなく、やせたみたい…
- ・つまづくことが多いな…
- ・今までできていたのに、しんどいかな…

4 専門職からの具体的な助言で力を引き出し、いきいき笑顔に！



不安なことは相談してくださいね。

2 周囲の人の気付き、声掛けなどをきっかけに同行訪問の申し込み



主治医などの医療職

ケアマネジャー・包括支援センター

区長、民生委員、福祉委員、老人クラブなど地域の方々

⇒申し込み

私たちが訪問します！

体の状態を確認し、  
運動や動作のアドバイスをします

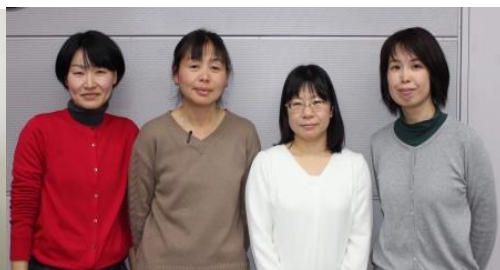
食生活を確認し、  
食事や調理のアドバイスをします



▲希望や訪問看護ステーション



▲メディケア・リハビリ訪問看護ステーション



▲NPO法人はみんな南河内





**取組名** いきいき笑顔応援プロジェクト  
～持てる力を引き出す、訪問からのアプローチ～

**受賞者** 藤井寺市

所在地：大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号  
電話：072-939-1164  
URL：https://www.city.fujidera.lg.jp/soshiko/fukushi/koreikaigo/gromannai/kaigojobou/9346.html  
E\_mail：kaigo@city.fujiidera.lg.jp

活動地域概要	住民情報システム/令和元年 10月1日時点	
活動範囲	大阪府藤井寺市	
総人口	64,565人	
65歳以上人口	18,172人	28.1% (総人口に占める割合)
75歳以上人口	9,454人	14.6% (総人口に占める割合)
一般世帯数	29,270世帯	
高齢単身世帯数	5,342世帯	18% (一般世帯数に占める割合)
高齢夫婦世帯数	2,460世帯	8% (一般世帯数に占める割合)
世帯数に関する出典/時点	住民情報システム/平成31年4月1日時点	



**キーワード** いきいき笑顔応援プロジェクト、いくつになってもいきいき笑顔で過ごせるっていいなと思えるまちづくり

**取組・事業の背景・経緯**

**■背景**

大阪府は、全国において要介護認定率1位、第1号被保険者一人当たり介護給付額1位といった状況で、その府内でもさらに本市は要支援1の認定者割合が23.3% (全国平均13.9%、大阪府は19.4%)と非常に高く、サービス種類では訪問介護の利用が全国に比べ2倍以上であるなど、高齢者に対する介護予防の意識啓発や、軽度者の自立支援、適正なサービス利用に向けた取組みが必要であった。

**■経緯**

高齢者の自立した暮らしを多職種で支援するための方法について、包括ケアマネジャーの意見をもとに現実的な方法を検討した結果、会議室ではなく本人を含めた場(自宅)で心身の状態にもとづくサービスの選択や達成可能な目標設定を行えるよう、「同行訪問」を市独自に開始することとした。(「同行」=ケアマネジャーと、作業療法士・理学療法士または管理栄養士の二者の同行)

**取組事業の概要と特徴**

いくつになっても、毎日をいきいき笑顔で暮らせるように！ 専門職の助言で、力を引き出す「同行訪問」

日常生活上の不安・困りごとのある高齢者宅を、ケアマネジャーと専門職が訪問し直接助言を行うことで、①本人の意欲向上と合意形成(家族も含む)、②ケアマネジャーのアセスメント力の向上、③早期介入と適切なサービスの利用を可能とし、本人の意思のもとに自立支援を促進する。

**■ポイント**

**①誰でも受けられる**

要介護認定の有無に関わらず利用できるため(一般介護予防事業)、誰でも申込制によって専門職の訪問を受けることができる。

**②地域の見守りからつながる**

民生・福祉委員等の高齢者を見守る役割を担う地域住民にも事業を周知し、「専門職の訪問」という選択肢を提案してもらっている。

**③医療職の見守りからつながる**

主治医等の医療職にも事業を周知し、患者について気になれば同行訪問の申込みを提案してもらっている。

**④多職種で仕組みを作る**

申込方法や手順、必要な様式等はすべて運営委員会(市・包括3職種・ケアマネ・リハビリ職・管理栄養士の約15人で構成)にて協議し、多職種の意見を踏まえて改善を図っている。



**取組事業の成果**

**■訪問による利用者の変化**

生活意欲の向上、目標に向けた取組の開始、できなくなっていた家事の再開、サービス利用の自主的な中止、前向きなサービス利用の開始、自身の病気や健康に対する理解・関心の促進、地域活動への参加 等

**■具体例**

- ヘルペス発症後に神経痛が残り、家事がつらいためヘルパーに掃除をお願いしようと思っていた。  
→作業療法士から痛みの原因(骨盤の歪み)や改善方法の指導を受け合点がいき、「本来自分で何でもできるから」と思い直してヘルパーに頼らず頑張ることになった。
- 押入れへの布団の上げ下げが負担で、ベッドの購入を検討していた。  
→収納する高さを低めに調整するなどして、毎日続けることがとても良いリハビリになると作業療法士から説明、専門的な助言で意欲が向上した。
- 糖尿病の食事療法にまじめに取り組んでいるが、一方でそれがストレスとなり好きなものを加減できず食べてしまうことがあった。  
→管理栄養士から、やって良いこと(パンにバターを塗る、コーヒーをパルスweetで加糖する等)の助言を受け、無理なく続けられるようになった。



↑作業療法士から教わった自主トシを夫婦2人で実践



↑食べているパンの種類、果物の量、水分摂取量などについて管理栄養士に相談



↑「えとこふいいてら新聞」訪問の様子と設定した目標、本人の決意等のインタビュー記事掲載(新聞は約2か月ごとに発行)半年後の様子も取材し掲載予定

# 要支援前からの介護予防 ～藤井寺市いきいき笑顔応援プロジェクトをベースとした栄養支援活動の報告～

PPP-016

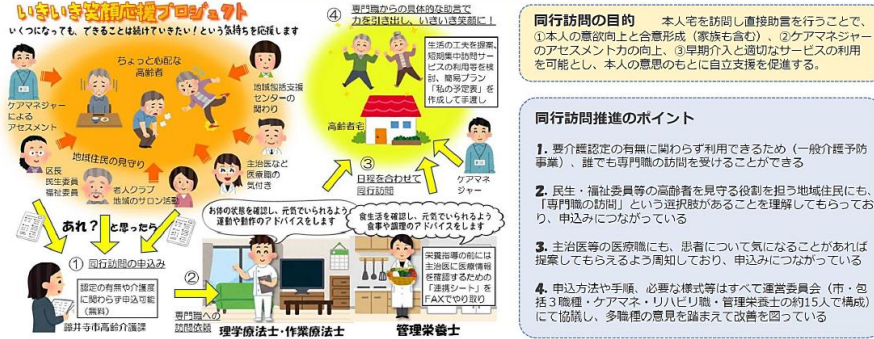
○時岡奈穂子<sup>1)</sup>、佐藤美早紀<sup>4)</sup>、西淳子<sup>5)</sup>、松本福子<sup>1)</sup>、杉村亜希子<sup>1)</sup>  
 高取雅美<sup>1)</sup>、奥野由佳理<sup>1)</sup>、竹口輝彦<sup>2)</sup><sup>3)</sup>  
 1)認定栄養ケアステーションNPO法人はみんぐ南河内、2)竹口クリニック、  
 3)藤井寺市医師会、4)藤井寺市高齢介護課、5)藤井寺市地域包括支援センター

## 【はじめに】

いつまでも地域でその人らしく住み続けるためには、体の変化に早期に気付き本人主体のケアにつなげることが重要であり、QOLの要素である「食の楽しみ」を長く保つためにも早期からの適切な栄養支援体制の構築が望まれる。藤井寺市においては、行政、医師会、地域包括支援センター、NPOの連携により自立支援として介護度によらずに栄養支援が導入でき、それをベースに必要なに応じてセルフケアや居宅療養管理指導へつなげるという、シームレスに栄養と食の支援が受けられる環境が構築できたので報告する。

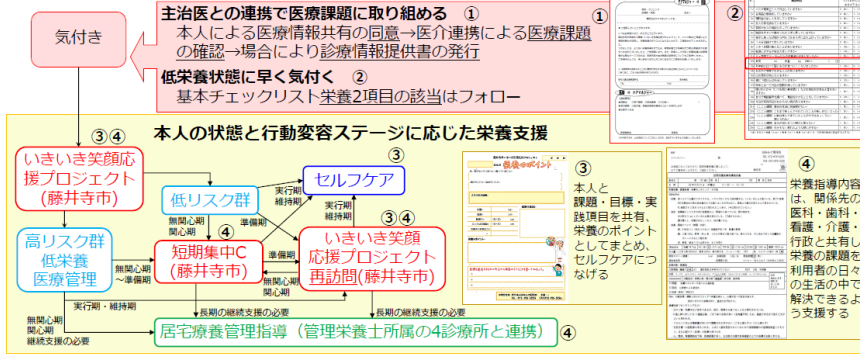
## 【取り組み】

### ◆Base◆ 藤井寺市いきいき笑顔応援プロジェクトにおける同行訪問による栄養支援

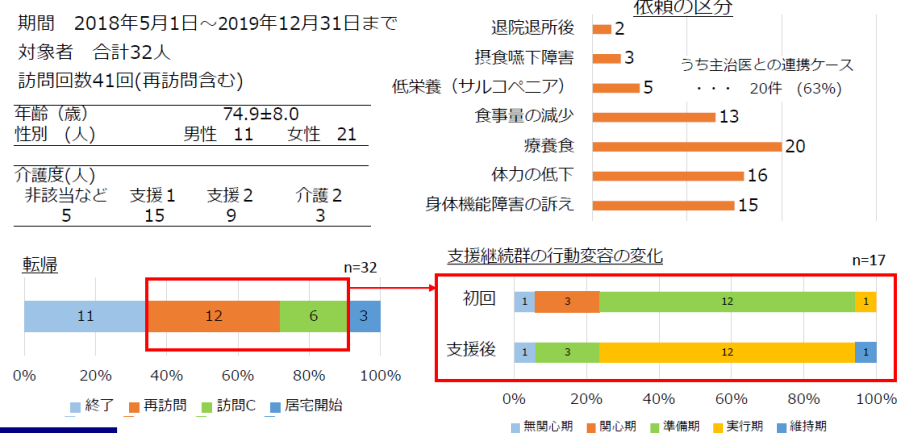


なお、藤井寺市いきいき笑顔応援プロジェクトは2019年11月「第8回健康寿命をのびよう！アワード（介護予防・高齢者生活支援分野）」自治体部門にて厚生労働省老健局長優良賞を受賞

### ◆Scheme◆ 地域における栄養支援の展開

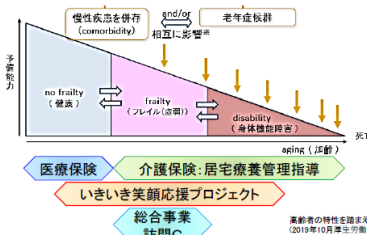


### ◆Results◆ いきいき笑顔応援プロジェクト(栄養指導)の現状



## 【まとめ】

### 藤井寺市の在宅栄養支援の種類と範囲



個々の栄養状態は食と活動の両面に関わる。藤井寺市いきいき笑顔応援プロジェクトで支援した対象者の多くには行動変容が見られ「療養食の継続」のみならず「社会参加の増加」「家族の負担軽減」など、ICFの活動と参加、環境面への影響が良好に現れており、早期から無理なくセルフケアができる栄養支援体制は暮らしを支える地域包括ケアシステムの重要な要素と考える。

筆頭演者、共同演者において、開示すべき利益相反 (COI) はありません。